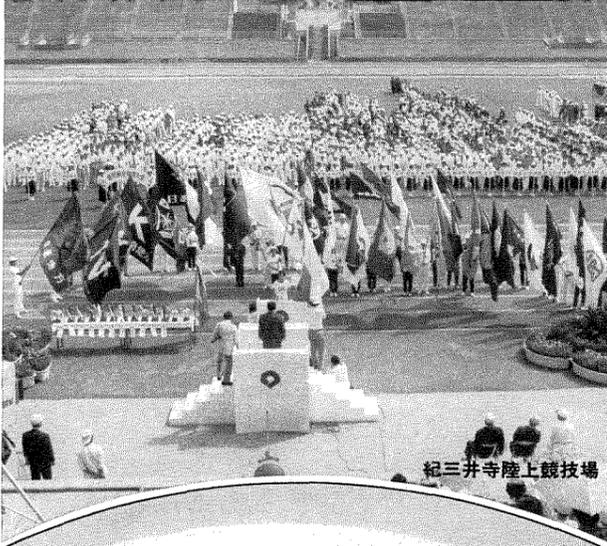


県民の友

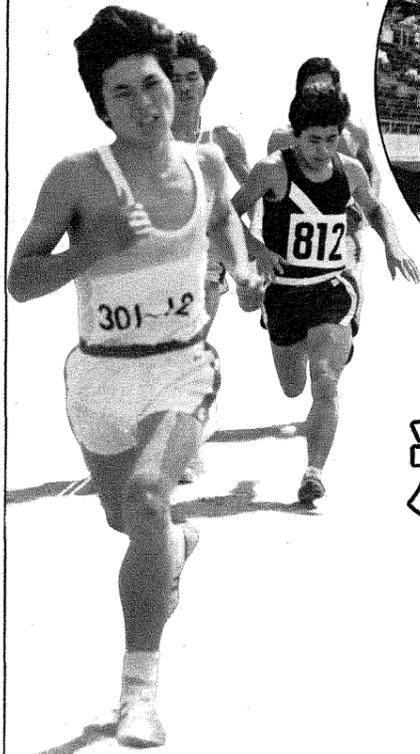
49. 10 発行/和歌山県知事公室広報課 和歌山市小松原通1の1

スポーツ 自分のからだを動かしてみよう。汗が出るまで。からだ
と精神のすべてを一つのことにつけてみよう。いら
ないことが、みんな消えていく。そして、快い疲労…。一人
でもよい。だが、多勢でやる方が楽しさが広がる。“スポ
ーツ和歌山”

和歌山県知事 大橋正雄



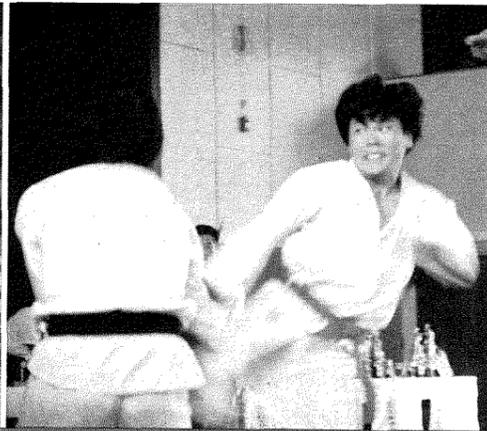
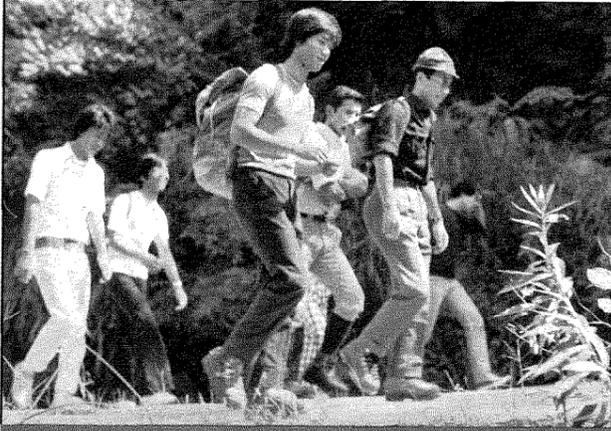
紀三井寺陸上競技場



秋、はつらつ!!

“黒潮国体”からまる3年。きょうはチビッコからお年
寄りまで、県下の町から村から約15,000人が参加して
第3回県民総参加スポーツ大会が開かれました。

秋空のもとで、明るく、そして伸び伸びと、さわやかな汗を流す姿をカメラで追ってみました。(9月16日)



県政お茶の間番組

テレビ — 黒潮と緑のあいだ —
 テレビ和歌山 毎週水曜日18:00~18:15
 (再) 毎週金曜日22:15~22:30
 四国テレビ 毎月第3第4土曜日7:30~7:45
 毎日テレビ 10月18日金曜日7:05~7:20

— 県民チャンネル —
 テレビ和歌山 毎週火、木、土曜日18:15~18:20

(再) 毎週火、木、土曜日21:55~22:00

ラジオ — 県庁だより —
 和歌山放送 日曜日を除く毎日12:30~12:35
 県政広報映画 「わたし達の紀州」
 カラー・シネマスコープ・30分、ただ今県内常設映
 画館で上映中
 16mmフィルム利用申し込みは
 県庁広報課(0734)32-4111代・もよりの県事務所県民生活課へ

きのくに思い出アワー

テレビ和歌山 「黒潮国体」
 10月11日(金)21:00~21:55
 10月24日(木)22:00~22:55
 「ようこそ紀州路へ」
 (行幸啓記録映画)
 10月10日(木)22:00~22:55
 10月25日(金)21:00~21:55

豊か且珠は文化の泉

第七回県民文化祭

ゆとりある人生は私たちの願いです。豊かな緑は私たちにやすらぎとのおいさを与えてくれます。そこに文化をはぐくみ、育てるゆとりを見いだすことができるのです。香り高い催しをたくさん用意してあなたをお待ちしています。10月中旬から11月初旬の催しは次のとおりです。

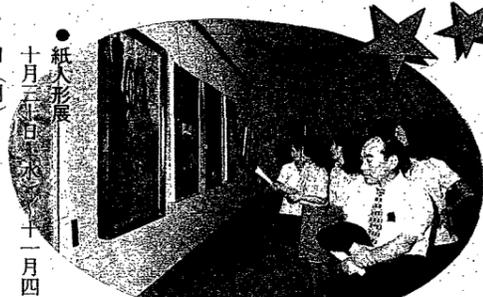


文化の秋にさきがけて、華々しく催された「第7回県民文化祭開幕フェスティバル」。パレーや民族芸能、そして日本の伝統的な大衆芸能文化といえる落語の桂米朝氏と大橋知事が対談。お互いの心をつなぐ「話術について」話がはずみました。(9月7日県民文化会館で)

- 県民文化会館で開かれるもの
 - 日本合唱協会特別演奏会 十月十七日(木) 十八時半
 - 母と子の名作劇場「キユーちゃん」 劇団「四季」 十月二十六日(土) 十時半
 - ビクトリア・デ・ロスマンへ レス独唱会 十一月一日(金) 十八時半
 - 県民合唱祭 十一月三日(日) 十二時
 - 和歌山おどり 十一月九日(土) 十二時
 - 八ミリ映画祭 十一月九日(土) 十三時 十八時
 - 県吹奏楽祭 十一月十日(日) 十二時
 - 新潮文化講演会 十一月十日(日) 十八時
 - アンネの日記、演劇集団「和歌山」劇団「いこら」 十一月十三日(水) 十四日(木) 十八時十五分
- 地方での催し
 - 母と子の名作劇場「キユーちゃん」 劇団「四季」 十月二十三日(水) 十三時半
 - 本宮町山村開発センター 十月二十四日(木) 十四時
 - 田辺市公会堂 十月二十五日(金) 十三時
 - 御坊市立体育館 十月二十七日(日) 十三時
 - 有田市市民会館 十月二十八日(月) 十四時
 - 橋本市市民会館 十一月三日(日) 十三時
 - 御坊市立体育館 十一月三日(日) 十三時
 - 八ミリ映画祭 十一月十六日(土) 十八時
 - 新宮市市民会館 十一月十六日(土) 十八時
 - 南紀寺院「長沢蘆雪」展 前期 十月二十日(日) まで 後期 十月二十六日(土) まで 十二月一日(日)
 - 県立博物館



- 紀伊国・縄文時代の生活と文化 十月一日(火) 十一月二十四日(日)
- 紀伊風土記の丘県立資料館 盆裁展 十月二十六日(土) 十月二十八日(月)
- 県民文化会館



- 紙大形展 十月三十日(水) 十一月四日(月)
- 県立近代美術館 秋季茶会 十一月二日(土) 十一月三日(日)
- 県民文化会館 俳句大会 十一月三日(日)
- 県民文化会館

活躍する 常任委員会

県議会には、六つの常任委員会と四つの特別委員会が設けられています。委員会は議事が開かれていない間でも、継続して調査するよう議決された事項について調査を行います。各常任委員会は八月下旬から九月中旬にかけて、それぞれ県内視察を行いました。総務委員会は、紀北のかつら

身分上での 新陳代謝がありました (戦国時代の頃)

差別の存在のまま麻のようにならぬ戦国時代になるわけですが、この時代は莊園に依った貴族を没落させると共に「斬りとり強盗武士の習い」とか「いま下廻上の世の中なり」といわれたように、権力を争ったのは武士だけでなく、たとえば豊臣秀吉・加藤清正・福島正則・小西行長など百姓や町人のせがれもあれば、北条早雲のような浪人一説によると徳川家康も名もなき僧と歩き巫女(賤民といわれた)の間に出来た子と言われるように、下づみにされた階層からも多く名をあげた人々がたのびました。このように、武士が貴族にかわり、下廻上など社会的変動が行われ、身分上の新陳代謝があったのです。ですから戦国時代の社会的身分の入れ替わりによって、それまでの賤民の身分は殆どなくなると言える状態だったのです。しかし古くより除くことはできませんでした。こうして下廻上の世の中も、信長・秀吉・家康と統一されることになりましたが、支配の地位に上った人々にとくにその上



身分差別の制度が固定されるようになり(江戸時代の頃)

位にある人たちは、なんとかして制度をがっちりさせたいと考えました。それには「天下泰平」のためという主観的な気持ちはあったでしょうが、結局「せっかく得た地位を守りつづける」という本能に近い支配欲が中心だったことは、かくすべくもないことなのです。ただ大切なことは、のちにのべますが、江戸幕府が当初格付した賤民は、この当時の没落者であって、古代や中世の賤民とひきつづいたものではないということです。

地を行って、農民を農地にくぎづけにし、土地の良否によって年貢の取り立てを行うことになりました。 ついで三年後(天正六年一五七八年)「刀狩り」を断行して、農民からあらゆる武器を没収し、兵農分離の基をかためたのです。 更に三年後、士農工商の身分制度を定め、これらの身分は、おのれの越え難いものとしてしまったのです。 要するに、近世における封建的身分階層構造はこのような過程を経て、江戸幕府にひきつづかれ、社会の身分制度として確立され、家光(三代)の頃、「武家諸法度」、「慶安の触書」などのように法令化されて完成したといえるのです。 そして身分をこえて職業をかけることや、結婚することにはさまざまな制約が加えられました。さらに、支配階級である武士(当時一〇%程度)は、こうした身分を固定させるために、その下に賤民身分をつくりました。当時人口の九〇%といわれた百姓町人を、ずっと領主が支配するといふしくみにしました。 こうした上に、さらに身分のおおのの中に幾重にも身分がつくられました。(つづく)

き研究学園ゾーンと紀南福祉エリアなど地域振興計画の現地調査や北部臨海工業地帯の企業防災施設の現状を調査。 厚生委員会は、身体障害者の福祉工場、療育施設など福祉関係施設や大気汚染状況をテレメーターで監視する公害技術センター、県民の健康を守る保健所など福祉、保健関係の施設調査を実施しました。 経済警察委員会は、不況下にある繊維工場の現況、漁港修築工事現場などを視察。警察関係では新設の交通管制センターや

運動免許試験場用地などの視察を行いました。 農林委員会は、みかん問題で加工工場や果樹園芸試験場を、また農業後継者養成の農業大学校や林業センターの現状を視察。大型農道や農業基盤整備事業の現地調査を行いました。 建設委員会は、和歌川環境整備事業など都市環境の視察に始まり、多目的ダムで地域開発を図る日高川総合開発計画、国道三十一号など道路改修現場や将来の発展の期待される新宮港の改修工事などを視察しました。

文教委員会は、中学統合の状況を新築した熊野川中学校で、へき地教育の実態を生徒十五名、三学級の本宮町高津小学校で調査を行ったほか、紀北と南紀養護学校の実情、県立高校施設の現況を視察。紀北青年の家の運営状況も調査しました。 以上が各常任委員会の活動ですが、このほか特別委員会も九月中旬に県内や先進県の現況調査を行うなど、議会の閉会中も活動を続けています。



陸橋の補修を

和歌山市 小林美年子 自動車洪水の今日の道路。好むと好まざるによらず、私達はよく陸橋を利用します。ところが段のセメントがはげ落ちて雨の日は水がたまり、昇降路に穴があいていたりして、つまずきそうになるのです。 また、ゴミが散っていたりします。各団体が自発的に清掃したり、ゴミかんを設置したりしていますが、一般の公德心をうながす指導とさらに安全を期すためのパトロールと補修をお願いします。

【お答え】 陸橋の管理は、各道路管理者(国、県、市町村)が行っていますが、数も多く、ご意見とお知らせも十分とはいえず、国や市町村と連絡をとりながら、さらに、パトロールを強化し、点検、補修につとめます。 一般の公德心の高揚については、「道路を守る月間」「道路愛護週間」などを設け、ご協力をお願いしています。なお、危険な箇所がありましたら「どこの陸橋がこわれている」と具体的に通報していただければ、対策もスピーディーになると思いますのでよろしくお願ひします。(道路維持課)



お知らせ

電話 (073) 32-4117

国民健康保険の自己負担は、1人、1月、3万円が限度になります

10月1日から国民健康保険の被保険者が1箇所で診療等を受けた月の自己負担額が3万円を超えたときは、その超えた額が払いもどされます。(高額療養費制度)

払いもどしの申請書は、市町村役場又は国民健康保険組合に用意しています。

くわしくは市町村役場へお問い合わせください。

高齢者無料職業紹介所

お年寄りの方、気軽にご利用ください。

〈常設紹介所〉

和歌山市中之島ノ芝195 県社会福祉センター2階 電話 (0734) 31-9405

〈巡回紹介所〉

日 時	場 所
10月17日(木)13~15時	西牟婁事務所 民生課
10月23日(木)10~14時	有田事務所 民生課
10月24日(木)11~14時	日高事務所 民生課
11月7日(木)10~14時	東牟婁事務所 民生課

分譲住宅募集(住宅金融公庫融資付)

建設地 梅ノ木団地(新宮市新宮)

募集戸数 15戸(木造、平家一戸建)

申込受付 10月16日(水)~10月22日(火)

概算譲渡額 約800万円~約1000万円

入居時期 昭和49年11月中旬

くわしくは、県住宅供給公社(県庁内)又は新宮土木事務所(電0735-2-8551)へお問い合わせください。

昭和49年度「はたちの主張」作文募集

新成人としての自覚をたかめるとともに広く青少年の将来の指針となるような作文を次の要領により募集します。

応募資格 昭和29年1月1日から昭和30年12月31日までに生まれ、本県に在住する方
作文課題 自由ですが、職業、家庭生活、青年活動などを通じての新成人としての抱負や、青年らしい意欲と情熱にみちた具体的、建設的なものをお待ちします。

応募方法
原稿用紙(A4・400字詰)4枚以内
応募締切
昭和49年10月31日(木)



作文提出先及び問い合わせ先 各県事務所民生課、和歌山市教育委員会中央公民館

役所のことなら何でもご相談ください

国や県や市町村などの行政についての苦情やご意見をお聞きするため、次表のとおり合同行政相談所を開きます。気軽にご相談ください。(無料)

日 時	場 所	相談のことから
10月18日(金) 10時~16時	和歌山市 丸正百貨店 5階 特別室	恩給、年金、保険、生活保護、道路、河川、税金、登記、農地、郵便、交通、公害、許可や認可、国鉄、電々、専売、公団、公庫、事業団のことなどご相談ください。
10月15日(火) 13時~16時	田辺市 勤労青少年ホーム「わかしお」	

11月の移動県民相談室

法律相談、行政相談など、気軽にご利用ください。(無料)

11月20日(水) 本宮町山村開発センター

11月27日(水) 那智勝浦町役場

時間はいずれも10時~15時

納税相談コーナーができました

和歌山市のみならず 県税のことならどんなことでも相談に応じます。面接、電話、文書など、相談の方法はあなたが選んでください。とく名でもOK。相談の内容については秘密を厳守します。設置場所は和歌山県税事務所(県庁北別館2階、庁内番号3139)です。どうぞ気軽にご利用ください。



未来の夢とチャンスを技能でつかもう

県内の公共職業訓練校では毎年優秀な技能者を養成し、産業界へ送りだしていますが、このたび来年4月の入校生を次のとおり募集します。

〈県立和歌山高等技能学校〉

- 第1 自動車整備、第1 機械(以上高等課程)
- 第2 自動車整備、第2 機械、建築、木工、電子機器、理容、服飾

〈県立田辺高等技能学校〉

板金、製材機械整備、自動車整備、建築、塗装、

〈県立新宮高等技能学校〉

建築、構造物鉄工

〈和歌山総合高等職業訓練校〉

機械、機械仕上、板金、溶接、自動車整備、ブロック建築、塗装

〈日高総合高等職業訓練校〉

機械、機械製図、配管、電気、木工芸

受付 来年3月に中学校以上を卒業される方は、12月2日(月)から来年1月20日(月)まで〔和歌山高等技能学校の高等課程は、10月1日(火)から11月20日(水)まで〕

その他の方は、10月1日(火)から来年3月27日(木)まで。

くわしくはよりの公共職業安定所へお問い合わせください。



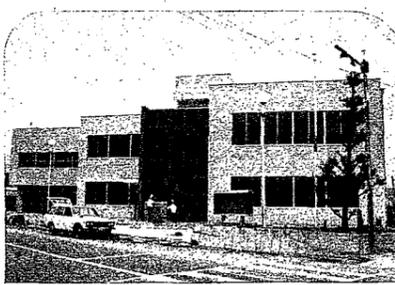
「豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動」月間

10月1日~31日

郵便貯金は公営住宅、学校、道路、上下水道の建設や公害防止設備など大きく役立っています。

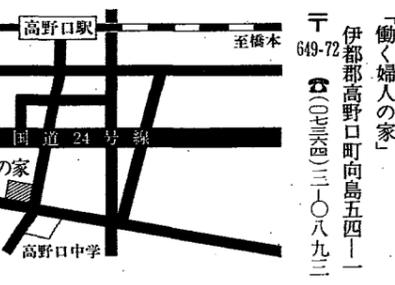
「働く婦人の家」高野口町に完成!!

何かと忙しい勤労婦人や家庭の主婦。そんな中でも日々の生活をより豊かにするため何かをしたい!と考えている方も多々います。こういう方々が気軽に利用できる施設として、県では「働く婦人の家」を建設しました。できるだけ多くの方々の利用をお待ちしています。



業務内容

〈相談・指導〉 職業生活や家庭生活、育児などについての相談をうけ、指導や助言をします。
〈講演会・講習会などの開催〉 勤労婦人講座や料理、洋裁など教養を高めるための講習会を開きます。
〈グループ活動 クラブ活動の指導〉 茶道、華道、手芸、フオークダンスなどのグループ活動のお手伝いをします。



「働く婦人の家」
伊都郡高野口町向島五四一
〒649-72
☎(0734)310893



温泉大浴場もできました
ママさん会館

消費生活センター

食品は製造年月日など確かめて!!

AF2使用禁止に



合成殺菌料「AF2(フリルフラマイド)」の安全性が問題になっていましたが、最近の動物実験の結果「発ガン性」が実証されたため、九月から使用禁止になりました。
従来、このAF2は、魚肉および畜肉ハム・ソーセージ、カマボコ、ハンペンなどやとうふに使用が認められ、その殺菌作用により、ボツリヌス菌などによる、恐ろしい食中毒の防止や食品の保存性を高めていました。これからは食中毒の発生や腐敗が心配。これらの食品は衛生管理のよい店で、日付けの新しいものを確かめ、できるだけ早く食べるようにしましょう。

消費生活についてのご相談はお気軽にどうぞ!!
消費生活センター
和歌山県消費生活センター
〒640 和歌山市西丁1-1-1
県経済センター2階
☎(0734)331155
消費生活センター紀南支所
〒646 田辺市神子浜1-2-29
☎(0735)221100
※両センターでは、皆さんからの要望により、動く実験室「くらし号」を使い、各地で「移動消費生活センター」を開いています。巡回のご希望がありましたら各市町村を通じて、または直接センターへお申し込み下さい。

わらわれているのはアナタです

秋の防犯運動
十月一日~三十一日
行楽と秋の収穫が重なり、留守になることが多くなります。ドロボーはこんな折りをねらっています。
みなさん、次のことにぜひ、注意しましょう。
●外出時には戸締りを完全にし隣りに一声かけよう
●自転車には必ずカギをかけ住所、氏名をかいておこう
●秋祭りの季節です
う 飲んだら乗らない
ろ 乗るなら飲まない
守 飲んだ者には乗らせない



訂正
先月号「県民の友」で児童扶養手当の支給額を児童三人以上の場合は一萬六千円に一人につき六百円加算されると記載しましたが、四百円の誤りですので訂正します。